

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポート あくしす大開		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域に沿った、様々な集団療育プログラムの提供。	・毎月決まった領域に対してのプログラムを立案し、支援を行っています。(例:1月【人間関係・社会性】だとしたらその領域に対して1ヶ月間アプローチを行います。)プログラム名としては同じ活動でも5領域に合わせたねらいやアプローチ方法で支援を行い、お子様が楽しみながらプログラムに参加していただけるよう工夫しています。	・お子様の現状に合わせた新しいプログラムを取り入れ、お子様が楽しみながら心身の総合的な成長を促せるようなプログラム内容を提供します。 ・個別療育の実施に関して、現段階では全ご利用者様に対して実施ができていないので、将来的には全てのお子様へ集団療育と個別療育のどちらも提供できたらと思います。
2	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況についての共通理解や、共感的に話を聞く姿勢。	・送迎時や面談の際にお子様に関する情報共有を丁寧に行えるよう努めています。送迎時にご不在の保護者様とは面談時以外に対面でやりとりできる機会が少なくなってしまうが、安心感を持ってご利用いただけるよう努めています。	・今後も必要な距離感を保ちながら、保護者の方が安心感を持って相談したり息抜きになれる時間が提供できるよう努めます。
3	・SNSなどを活用した、日々の療育の様子の共有。	・Instagramを通して毎日の療育の様子を発信しています。	・プログラムに加え、自由時間のご様子などもSNSを通して発信し、保護者様が安心して事業所をご利用いただけるよう支援します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもと活動する機会の提供。	・系列の事業所や近隣の事業所との交流は定期的に行っていますが、基本的には事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。	・買い物実習や調理実習、レモネードスタンドの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきます。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会、兄弟同士の交流の機会、ご家族に対しての家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や研修会や情報提供。	・ペアレントトレーニングや家族支援プログラムとしての実施はできていません。送迎時や面談の際にその都度助言やアドバイスを行えるよう努めています。 ・今年度は【保護者会】を実施することはできたので、次年度以降も開催できるよう検討しています。	・現時点では継続的に保護者会を実施できるよう検討しています。
3	・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、または学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の関係機関との連携。	・フォーマットや仕組みがないため、適宜必要に応じてやりとりを行っている状態になっています。	・必要に応じて児童発達支援事業所との情報共有は行っていますが、保育園や幼稚園との情報共有は行っていないことが多いので、保育園や幼稚園とも情報共有が行えるよう改善します。 ・卒業後に利用される事業所から問い合わせがあった際には、情報共有を行ってきました。今後はこちらから積極的に発信できるようフォーマットや仕組みを検討していきます。